

平成20年10月23日

各位

上場会社名 東急不動産株式会社  
 代表者 代表取締役社長 金指 潔  
 (コード番号 8815)  
 問合せ先責任者 財務部統括部長 木村 昌平  
 (TEL 03-5458-0648)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	303,000	28,500	24,500	10,000	18.82
今回発表予想(B)	297,500	21,500	18,000	8,500	16.00
増減額(B-A)	△5,500	△7,000	△6,500	△1,500	——
増減率(%)	△1.8	△24.6	△26.5	△15.0	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	268,321	25,670	22,737	6,322	11.90

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	125,000	26,000	23,500	13,000	24.47
今回発表予想(B)	132,500	22,500	20,500	12,500	23.53
増減額(B-A)	7,500	△3,500	△3,000	△500	——
増減率(%)	6.0	△13.5	△12.8	△3.8	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	103,910	19,556	18,211	7,049	13.26

## 修正の理由

## (1) 個別

販売業において、販売が長期化する現在販売中の分譲マンションを中心に、たな卸資産の評価損を22億円計上したこと、賃貸業において、サブプライムローン問題に端を発し、売却を前提としてSPCが一時的に保有する郊外商業施設の売却が進捗せず、SPCの売却担当が計画未達となったこと、更に施設運営業において、株式相場低迷の影響等により、会員制ホテル「東急ハーヴェストクラブ」やゴルフ会員権の販売が遅れたことなどから、営業利益を35億円減額修正いたします。

その結果、経常利益、四半期純利益は、それぞれ30億円、5億円減額修正いたします。

## (2) 連結

個別の要因に加え、既に平成20年10月16日に業績予想の修正を公表しております東急リパブル株式会社や注文住宅やリフォーム事業を手掛ける株式会社東急ホームズ等、一部連結子会社の下振れにより、営業利益、経常利益、四半期純利益を、それぞれ70億円、65億円、15億円減額修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては現在策定中であり、第2四半期連結決算の発表時(平成20年11月7日予定)に公表する予定です。

\* 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上